

雨の歌

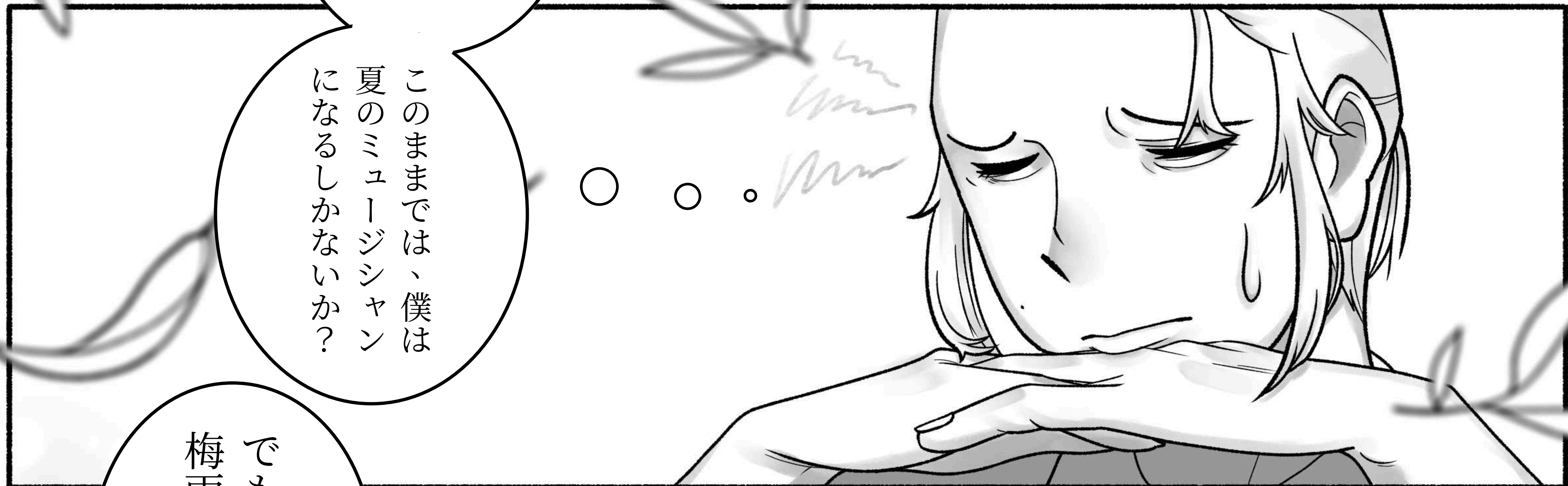
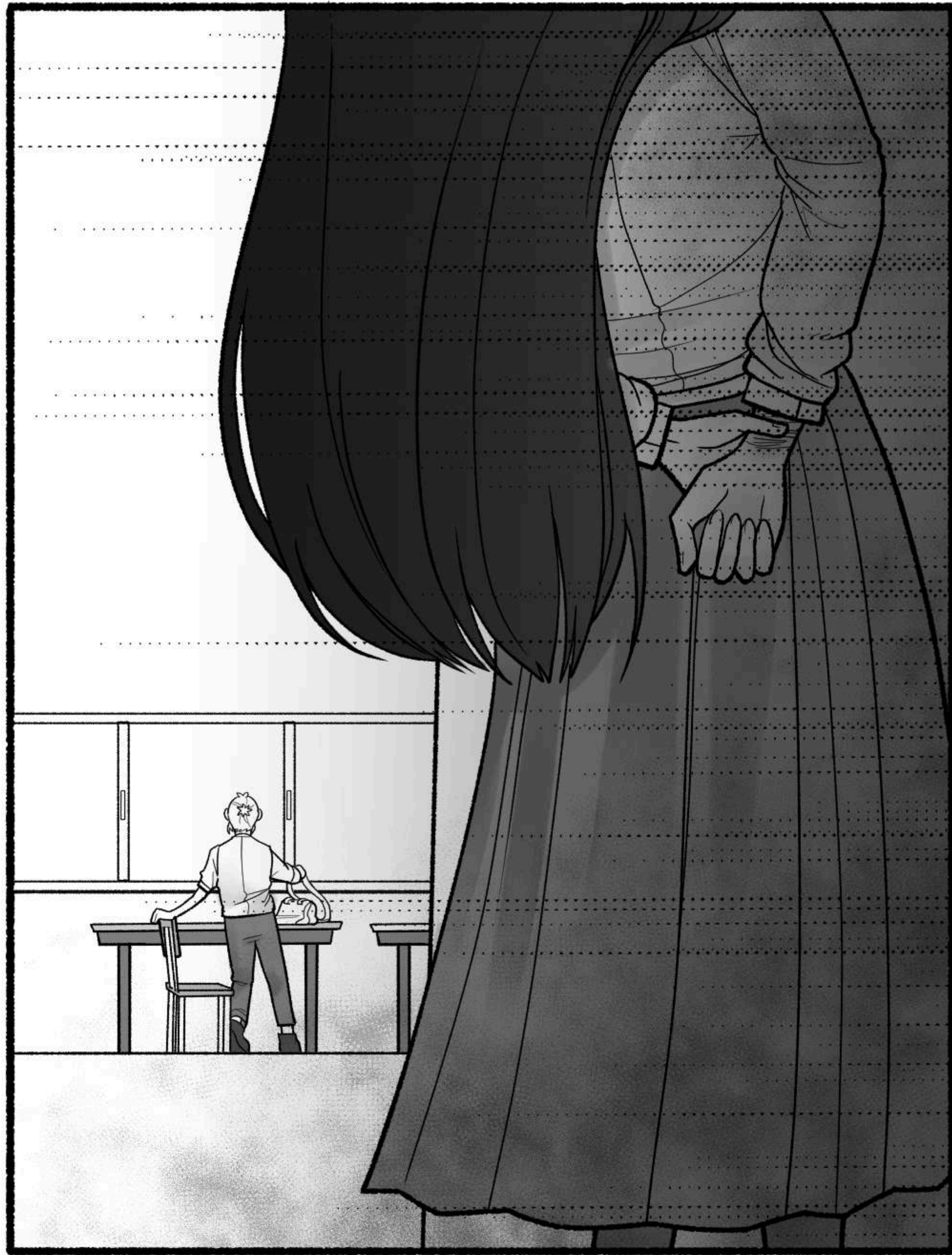
原作：Nayla Faiza Labiba
漫画：Salsabilla-Mawaddah & Aura-Marsya



やっぱりダメだ…
セミが泣くには
寒すぎる。

僕だけの天然な
メトロノームって、

ノートを作る
のに十分な
音量で泣く…

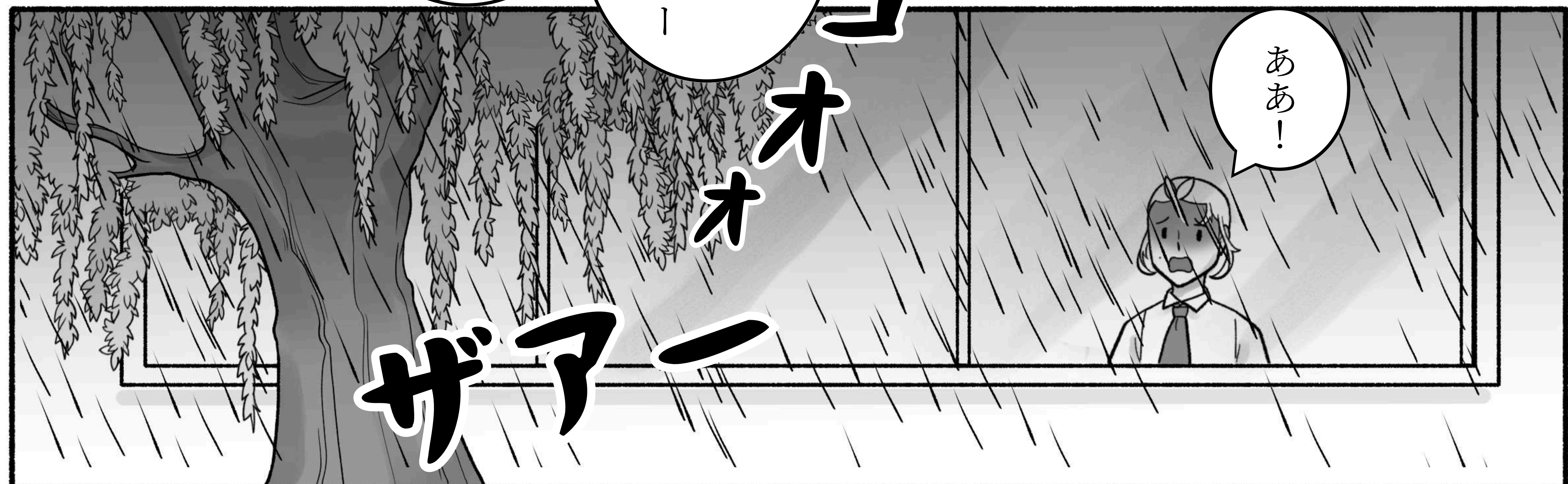


このままでは、僕は
夏のミュージシャン
になるしかないか？

でも、今日は
梅雨入りだ。

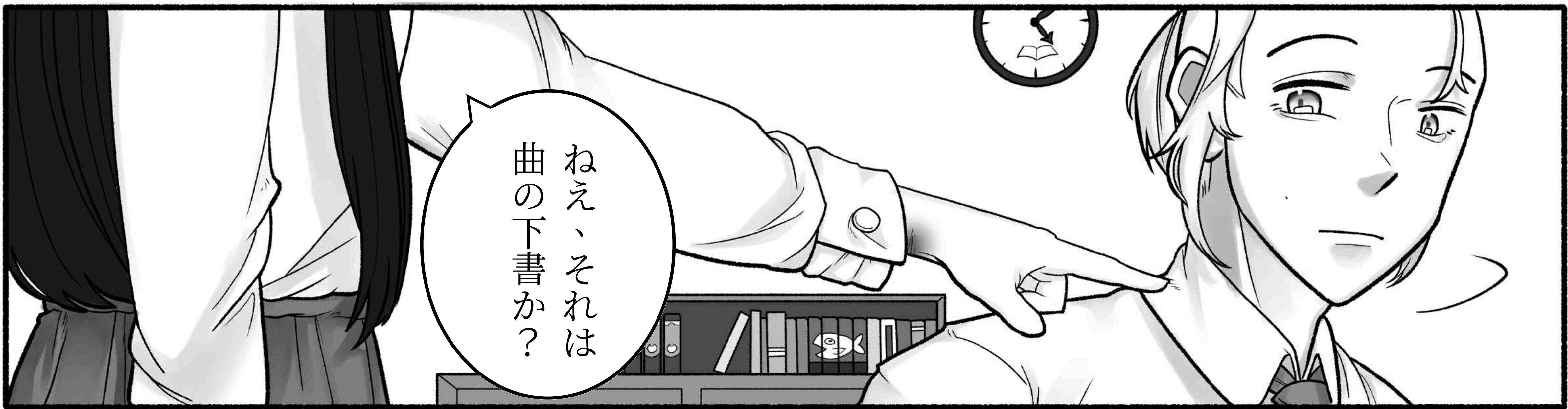
やっぱり、
メトロノーム
を買うしか
ないかな…

だったら、
この曲は
待たなくてー



ああ！

ゴ
ザア



ねえ、それは
曲の下書か？

でもねえ、
メトロノームと
楽器はないね

まあ、そんな
もの持ってい
ないよ…

へえ、
それは
なんか必要
じゃない！

まあ、それ
お金も必要
じゃないの？

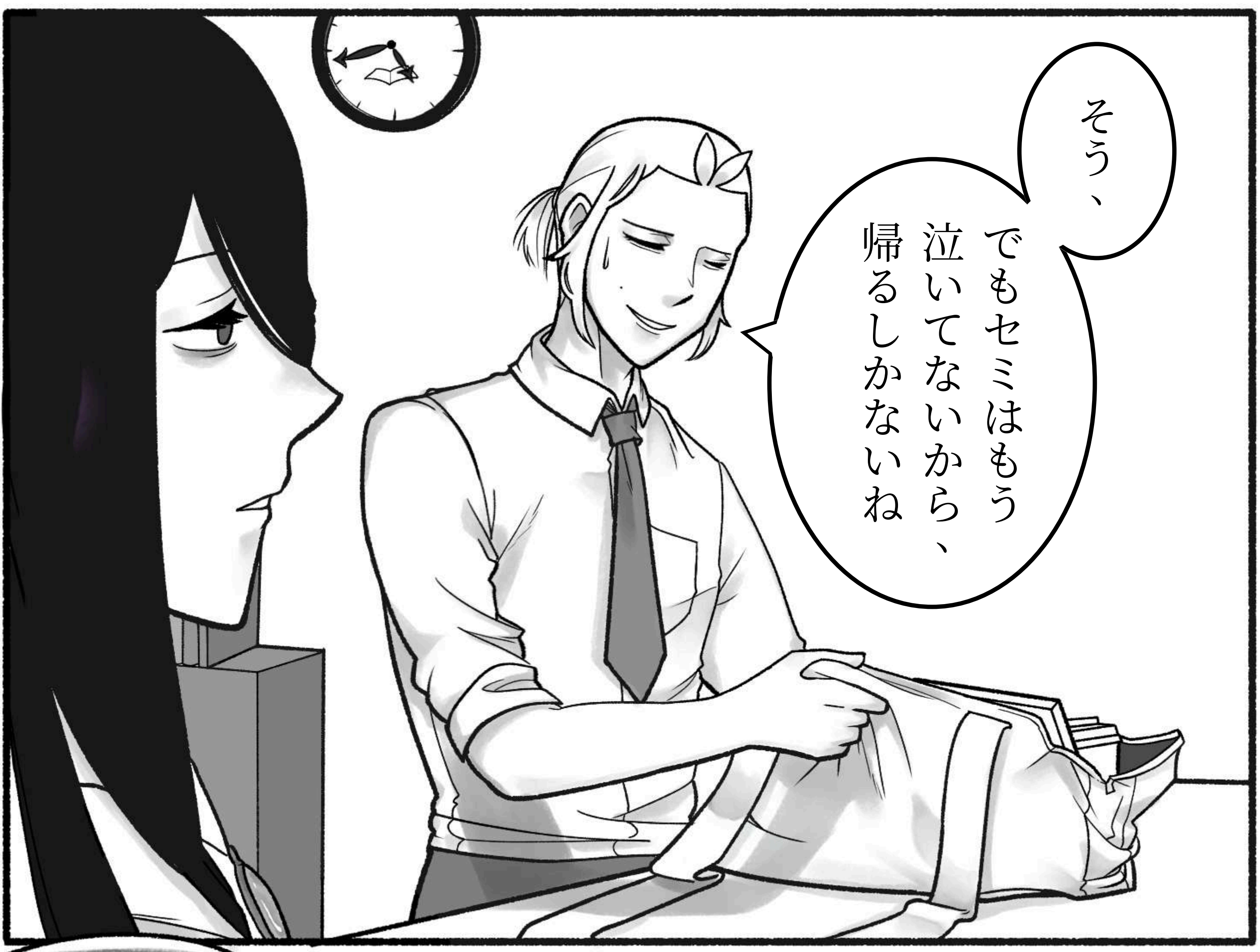
ああ…

だから
いつもセミの声を
聞いているんだね



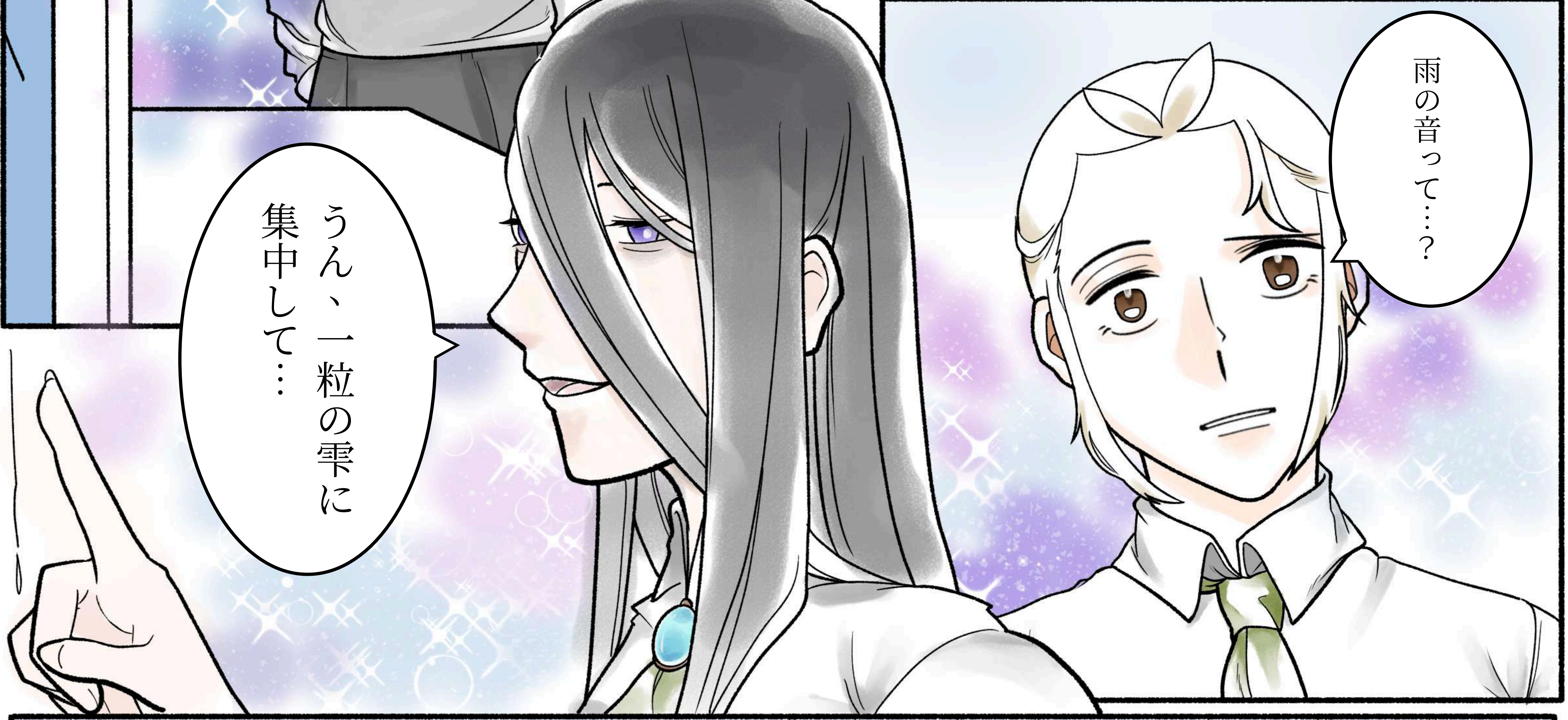


へえ…じゃ、
雨の音は
どう？



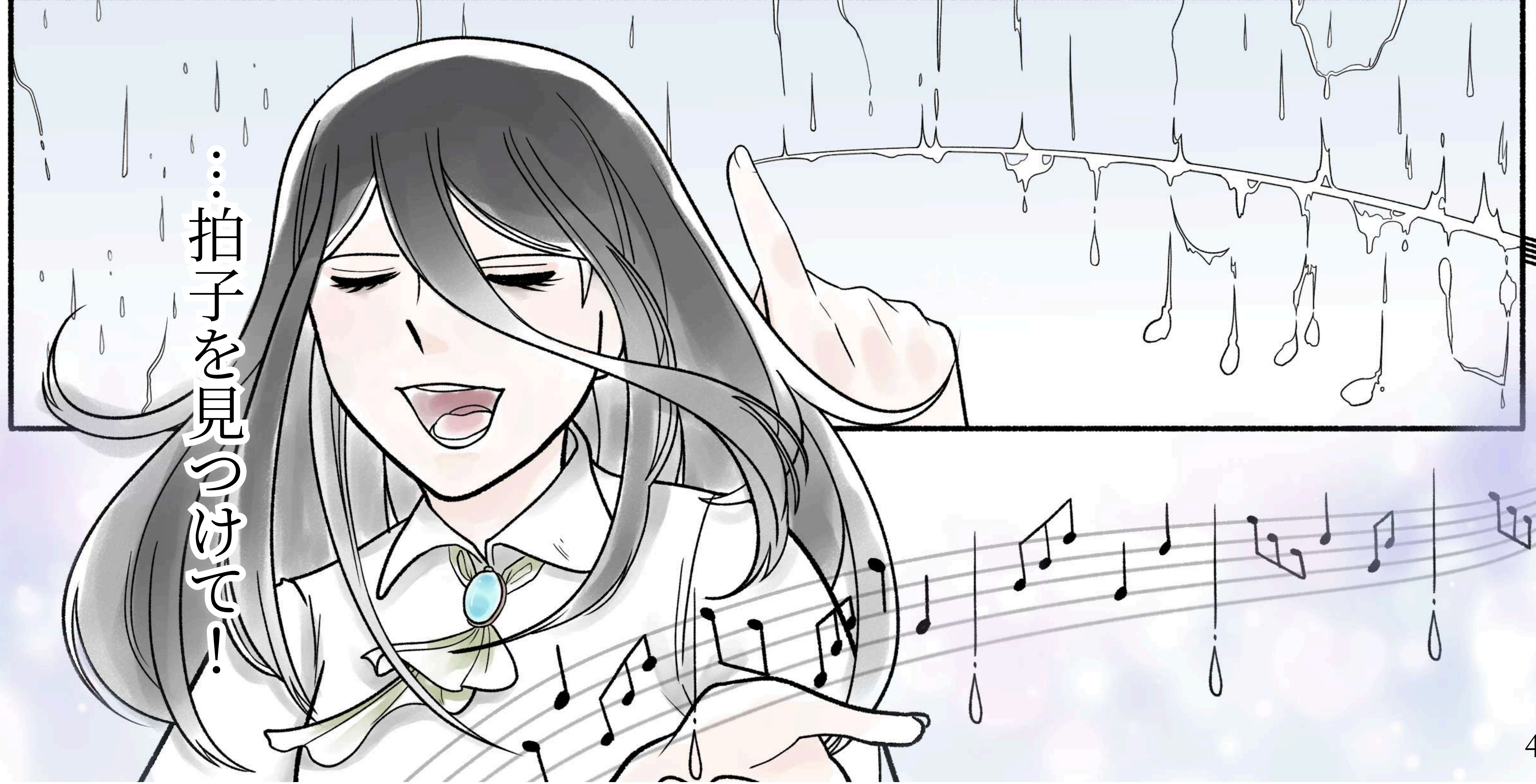
でもセミはもう
泣いてないから、
帰るしかないね

そう、

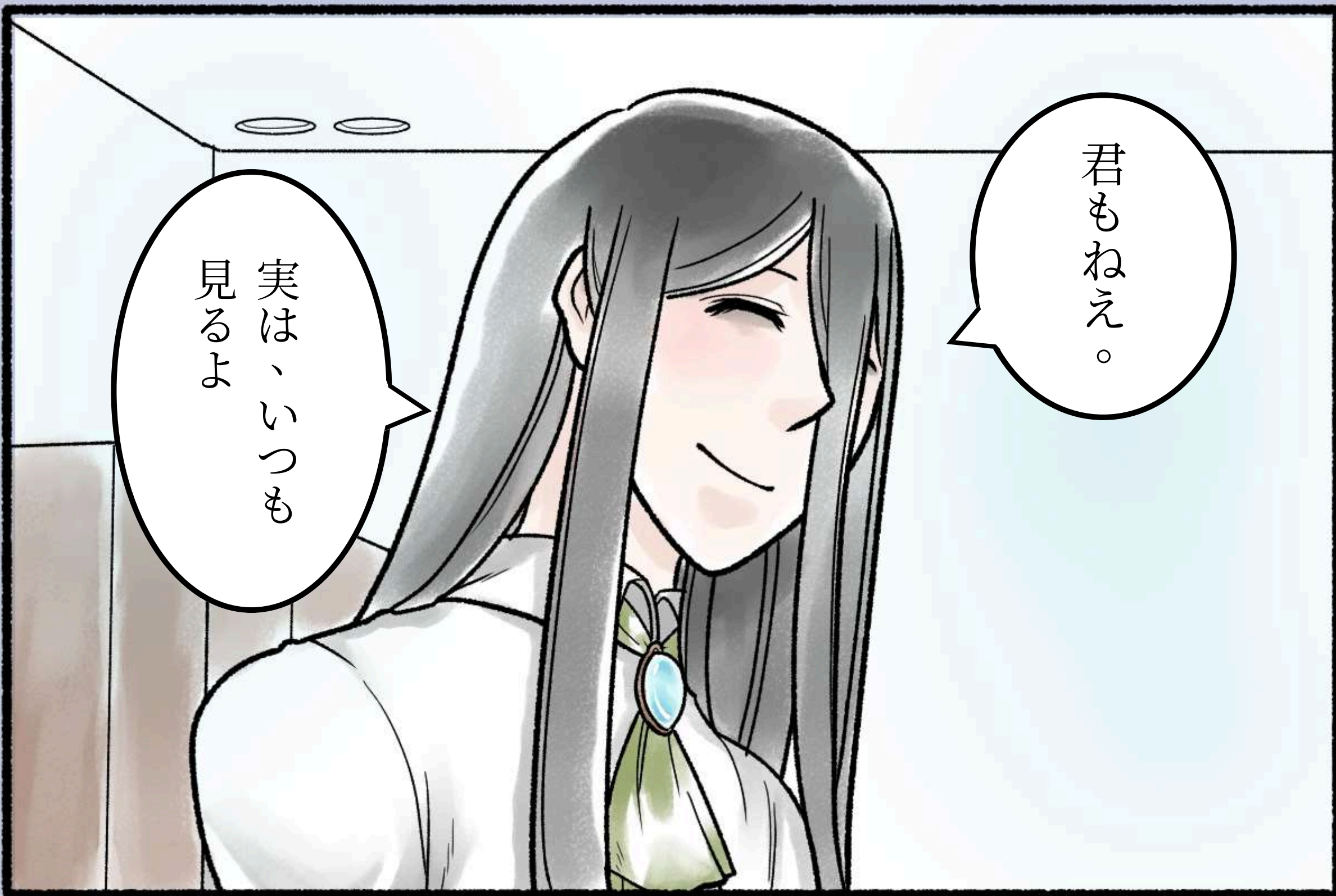


うん、一粒の雫に
集中して…

雨の音って…？



…拍子を見つけて！

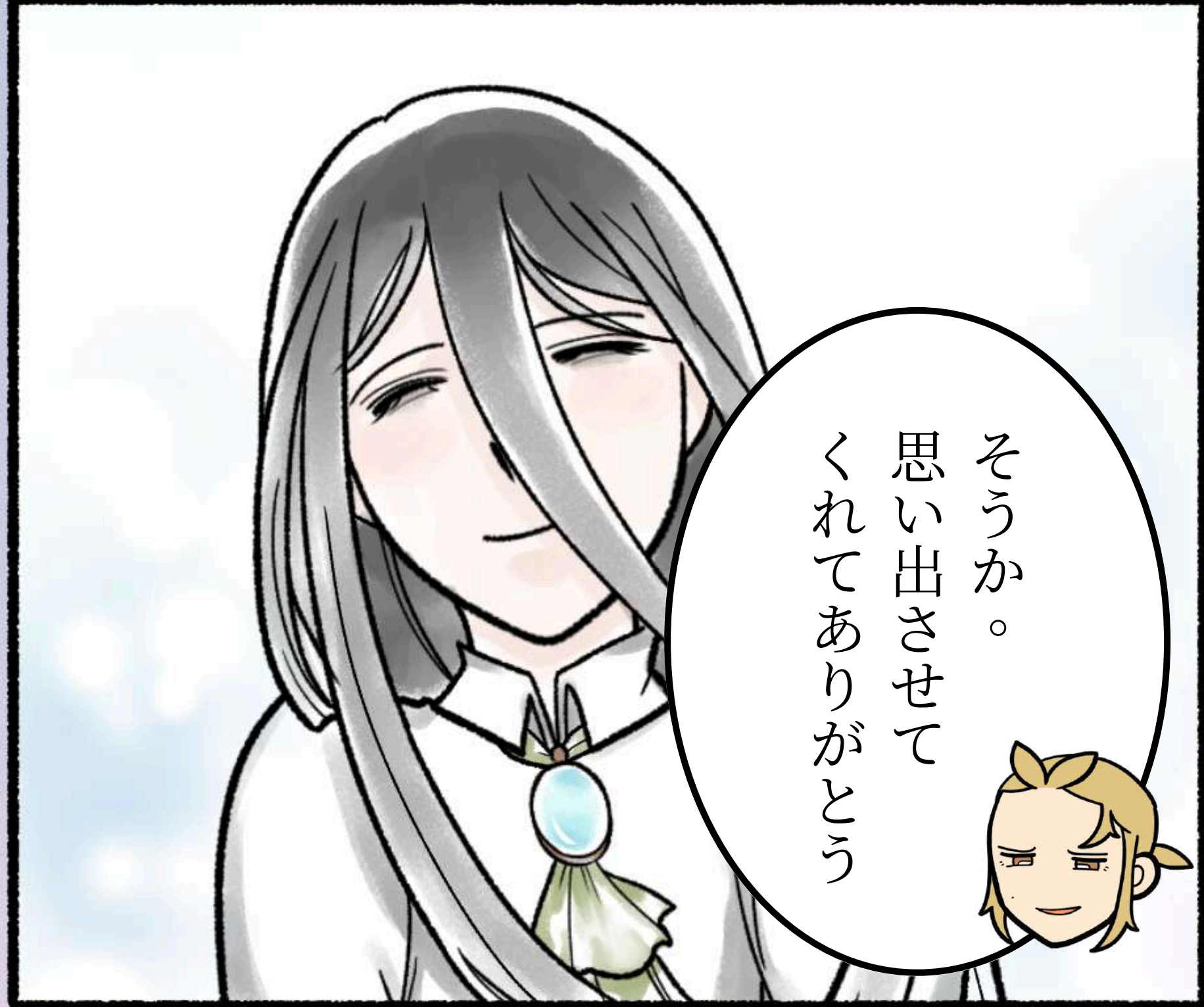


実は、いつも
見るよ

君もねえ。



うわ…
す…
す…

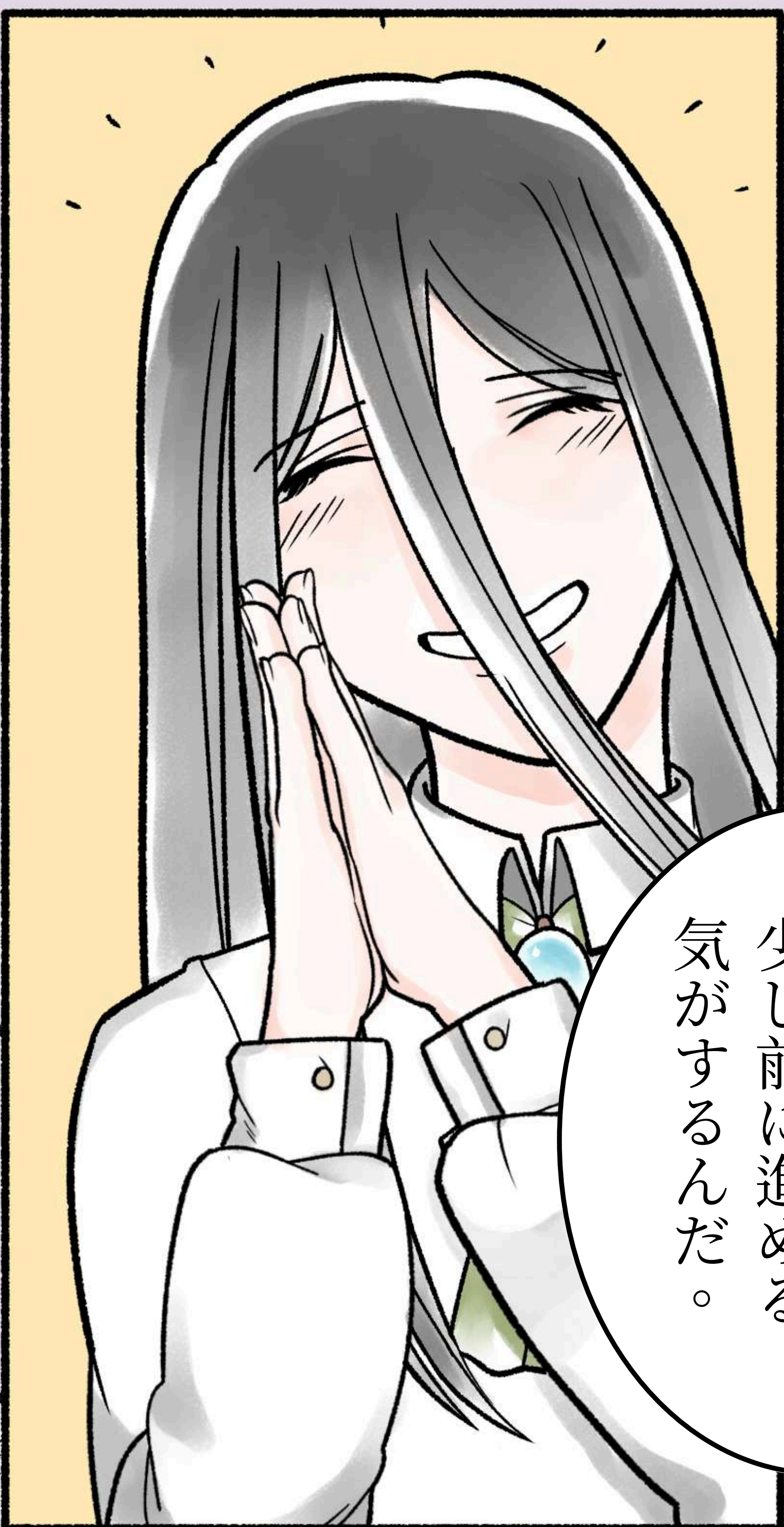


そうか。
思い出させて
くれてありがとう



でもね、季節ばかり
気にしすぎて、前に
進むのを忘れてる
みたい…

なんか、君は
メトロノームの
代わりを見つけた
ことができたのは
すごいだと思うよ

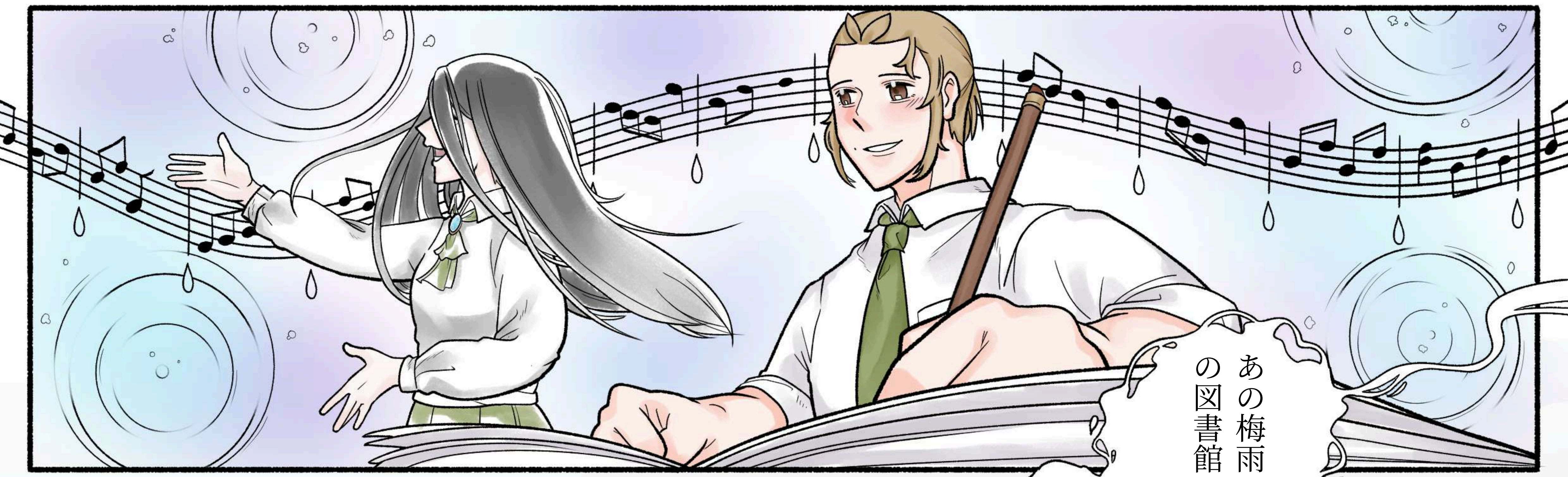


そうすれば、
春の気持ちから
少し前に進める
気がするんだ。



僕は
春樹

ねえ、一緒に梅雨
をうまく乗り
越えられるように
手伝ってほしい？



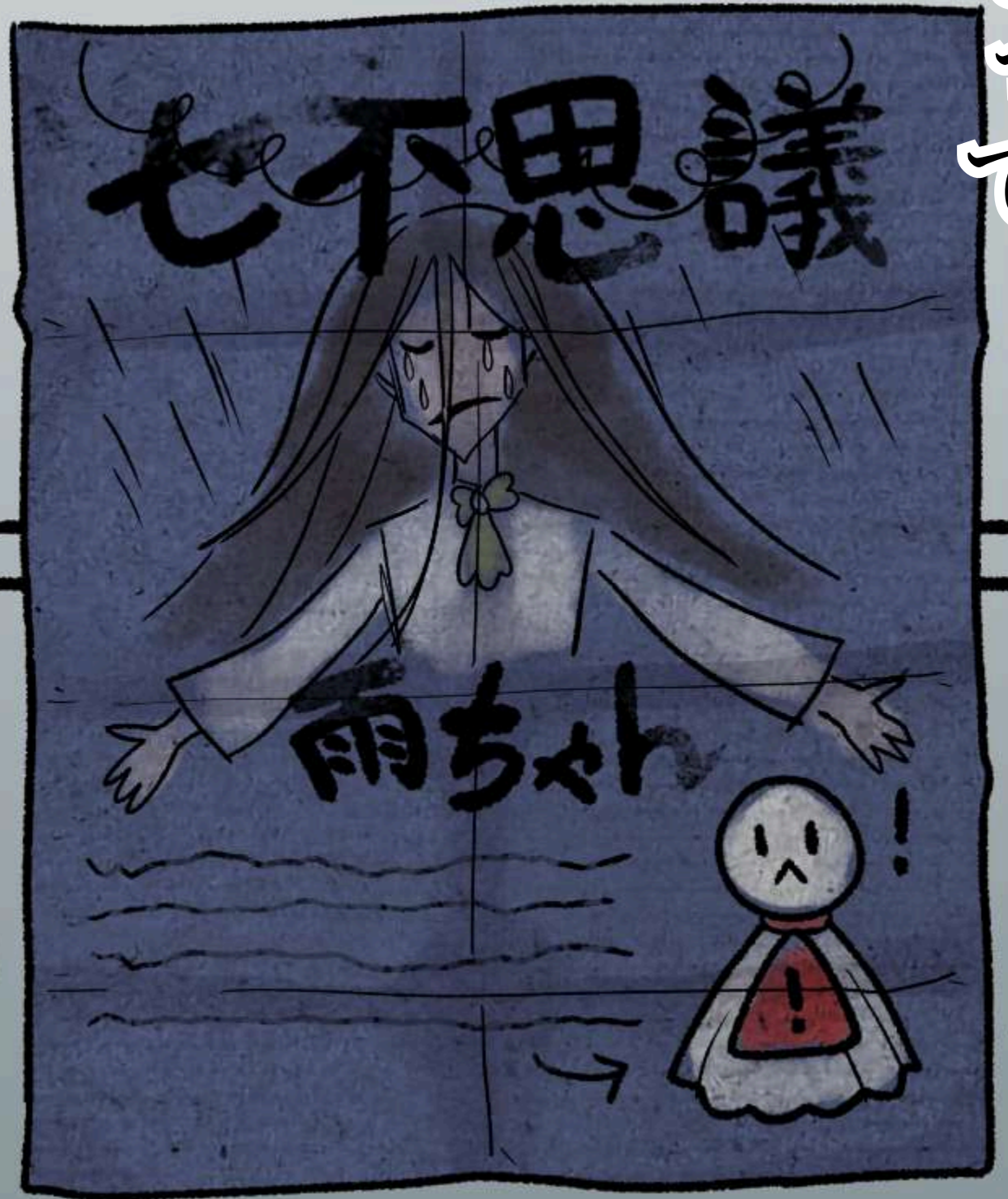
あの梅雨
の図書館で

最初の雨音と
セミの最後の
鳴き声の中で

少年は眞の
ミュージズを
見つけたんだ



だが、
季節が
変わった、
永遠に
続くもの
はない…
眞実が
ついに明らか
になって



ぐすっ

また、梅雨が
やってきたら…

一緒に和声を奏でよう。

